



田原市立泉小学校 令和7年度3月号

令和8年3月24日

泉小だより



学校教育目標 心豊かでたくましい子 ○深く考える子 ○がんばりぬく子 ○助け合うやさしい子

すばらしい旅立ちの日 ～ 第79回卒業式 ～

校長 小笠原 俊範

3月19日(木)、本校卒業生16名の巣立ちの日。校庭の桜の花が開花し始めています。たくさんの保護者やご来賓の方々に卒業生の前途を盛大に祝福していただきました。誠にありがとうございました。

厳粛な雰囲気の中、真新しい制服姿の卒業生が、緊張感を持ちつつも凛々しい表情で入場してきました。卒業証書の授与では、返事や仕草、卒業生の目の輝きや表情に、卒業する喜びや新たな旅立ちへの決意を感じる事ができました。子どもたちの成長を間近で感じられ、幸せな時間となりました。



お別れの言葉では、懐かしい思い出を振り返り、卒業生と在校生の呼びかけの言葉と真剣な態度から、お世話になった方々への感謝の気持ちや泉小学校を大切にする思い、新年度への意気込みなどが力強く伝わってきました。卒業生合唱「変わらないもの」、在校生合唱「大空がおかえる朝」児童・教職員での校歌斉唱など、みんなの心を一つにする事のすばらしさを感じました。卒業生のみなさんが、志をもって未来へと力強く挑戦し、人生をたくましく切り拓いていくことを心より願っています。

— 1・2年生 お別れ式 —

3月17日（火）に、式に参加しない1・2年生と卒業生とのお別れ式を行いました。たてわり班活動や通学班での登下校など、さまざまな場面で6年生にお世話になりました。特に1年生は、日々の教室掃除のお手伝いなど、6年生との関わりが深いです。

1・2年生は、泉鉢物園芸組合様からいただきました花の苗を感謝の気持ちを込めて寄せ植えにし、式場に飾り、6年生へもプレゼントしました。

お別れ式では、1・2年生から感謝の言葉を伝えました。卒業生との別れを惜しみ、在校生の中には涙する子も見られました。在校生にとっても、大切な節目を感じられた時間となりました。



寄せ植え



お別れ式

想いを「言葉」に



↑卒業記念に「今の思い」を自由な発想で書に表現しました。

↓卒業式の会場に、それぞれが作った落款（らっかん）を押した色紙を飾りました。



— お互いを認め合う風土づくり ～特技ヒーロー「いずみSHOW」～ —

3月4日（水）・5日（木）に、児童会が企画、準備、運営を行った「特技ヒーロー ～いずみSHOW～」を開催しました。多くの子どもたちや教職員が参加し、跳び箱、なわとび、ダンス、体操、ピアノ、新体操、楽器演奏、実験など多岐に渡る演目で、自分の特技や好きなことを練習した成果を全校に披露しました。観客からは感嘆の声や笑い声、惜しめない拍手が贈られました。

子どもたちが自分のよさを自由に表現し、互いを認め合う風土をつくっていくためのよい機会となっています。今後も、児童会・委員会活動やたてわり班活動などを通して、子どもたちが主体的に考え行動する力を育てていきたいと考えています。



— 紙芝居「流された永久丸」上演会 —

先月に石川勝様より泉校区コミュニティ協議会に紙芝居「流された永久丸」を5セット寄贈していただきました。その中の1セットを泉小学校で所蔵します。その紙芝居の初披露を兼ね、3月16日（月）に「まつぼっくり」の会のみなさまに全校児童へ読みきかせをしていただきました。このお話を読んだ方々が、さらにふるさと泉を好きになり、このお話が次の世代にも語り継がれていくことを願っています。

